



入野小学校

『鍛える』

〜心豊かで、たくましい

子どもの育成〜

校長 筒井 広実

◆はじめに

本年度は、学級数9(通常学級6、特別支援学級3)、児童数150名でスタートしました。

今年の目標のキーワードは「鍛える」です。たとえば「困っている友だちがいたら声をかけ、助けることができる。」「できるだけ、歩いて登校することができる。(バス通学

入野小学校 児童数(人)

学年	男子	女子	計
1年生	9	9	18
2年生	14	14	28
3年生	15	14	29
4年生	18	9	27
5年生	15	12	27
6年生	10	11	21
計	81	69	150

は除く。)そんな強い力を全校児童が身に付けることができるよう教職員が一丸となって頑張っています。

◆学力の状況

全学年ともに、期待正答率を上回りました。しかし、観点別、領域別に見ると、学年によっては、国語の「書くこと」に弱さがありました。昨年度の全国学力学習状況調査の分析でも同様の結果があり、今年度も引き続き、「書くこと」に重点をおいて取り組むことにしました。

◆学力向上の取り組み

標準学力調査の結果から得点の低かった国語の作問の問題について、再テストを行いどこに弱さがあるのかを分析し、全職員で確認しました。また、全国学力学習状況調査を実施後、全教員で問題を解き「今求められている学力」について、校内研修を行いました。

【課題克服の手立り】

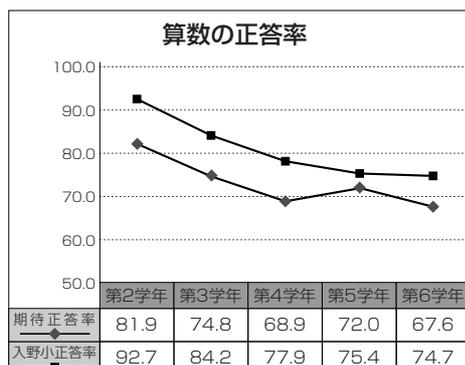
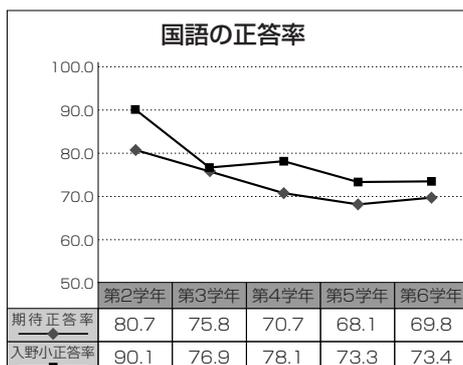
マス目用紙を活用して、書くことに慣れるようにしてきました。2学期からは、学年

ごとに字数を指定した原稿用紙も作成しました。

- 条件を付けて書く。
- 教科に限らずいろいろな場面で書かせる。

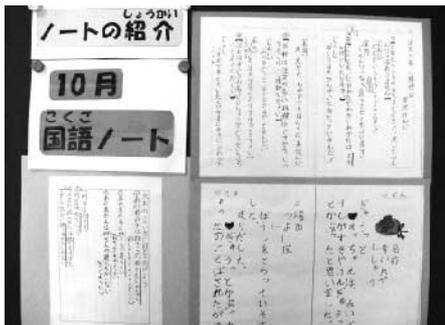
放課後のくろしおタイムを利用して計算と長文読解に取り組んでいます。

〈本年度の学力調査結果より〉



『美しいノートは力を付ける』

今年、学力向上に向けての新たな取り組みとして、「美しいノート」の指導を行っています。丁寧な字で見やすく書かれたノートを学級ごとに選び、玄関前に掲示し、紹介しています。3学期には「美しいノートコンテスト」も実施する予定です。



美しいノートの掲示

【研究授業の実施】

全教員が授業を公開し、研究授業においては、指導主事を招へいしての授業研究を行っています。

「かかわり合い・学び合う子どもを育てる」ために、ペア学習や班学習を積極的に取り入れた学習形態の取り組みを行っています。

◆特色ある学校づくり

【体験学習の例】

本校では4年生の地域学習で入野の特産「らっきょう」の学習をしています。

今年、南郷小学校の4年生と一緒に、植野隆さんの畑をお借りして「らっきょうの収穫から植え付け」の体験を行いました。

春には、収穫したらっきょうを自分たちの手で漬ける作業も体験しました。おいしくらっきょうが家で持つて帰りました。



らっきょうの植え付け

「鍛える」

これからも心と体を鍛え、「たくましい子ども」の育成を目指し、職員が一丸となってさらにすばらしい学校を目指します。

# 大方中学校

『心豊かで、たくましく、  
意欲をもって学ぶ』

校長 岡崎 哲也

## ◆はじめに

大方地域は、保護者や地域の方々が、子どもたちのためになることは、積極的に取り組んでいこうとする風土があり、教育活動にも協力的です。より良い子どもたちの成長を強く望んでおり、教育に関心が強い地域です。

その思いを受け、全校生徒198名、教職員23名が、『確かな学力』を育むため、さまざまな教育活動に取り組んでいます。

## ◆集団づくり

### ～個を高める生徒支援～

生徒一人ひとりにしっかりと向き合い、生活・学習面を支援することで個が高まり、それが集団の高まりに発展します。安心・安定した学校生活を送れるようになると確かな学力につながると考えています。

一人ひとりの生徒の思いを

しっかりと受け止め、安心・安定した学校生活となるよう取り組んでいます。

## 生徒一人ひとりに寄り添う 生徒支援・教育相談

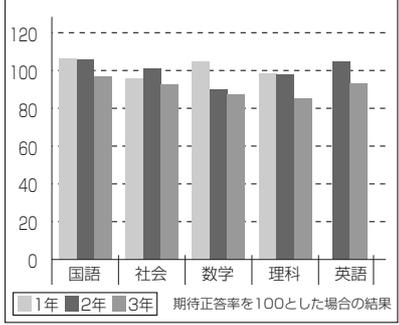
生徒に対してさまざまな生活実態調査を行っています。温かい学級づくりを目指した「QU調査」、生徒一人ひとりについて、学習・進路・学校生活・友人・家庭生活・心とからだなど、さまざまな内容を聞き、教育相談に役立てる「Σ調査」。

調査結果による客観的な資料を活用することで、よりの確かなアドバイスが行えると思っています。

## ◆学力向上

生徒一人ひとりに対する支援や教育相談の充実を図っています。

## 平成23年度標準学力検査(4月実施)



標準学力検査の結果を分析すると、数学・理科に課題があります。その中でも、「思考力・判断力・表現力」が重要とされる問題に課題がありました。それらの力をつけるため、言語活動を取り入れた授業づくりを校内研修の柱として取り組んでいます。「学力をつける」このことは学校が責任を持って取り組まなければならないかもしれません。少人数指導、大中タイム(基礎計算・漢字)放課後学習室、指導方法の工夫改善、家庭学習の点検と添削、生徒の学力向上につながる内容についてしっかりと取り組んでいきます。



言語活動を取り入れた授業

## (1) 基礎学力の定着と 学力の向上

### ① コース制少人数指導

3年生では、英語と数学の授業を2コース制で行っています。生徒一人ひとりに目を配ることができ、授業に積極的に参加する姿勢が見られ、

意欲的に頑張っています。少人数指導ならではの効果が出てきており、学力が向上しています。



3年生数学コース制授業

### ② 放課後学習室

3年生を中心に、放課後2時間程度、3年間の復習を中心に勉強に励んでいます。今年、高校の時間講師の先生と本校職員が指導者となり、数学・英語を2コースずつ行っています。目標とする進路実現に向けしっかりと学習しています。

### ③ 家庭学習の定着

生徒一人ひとりの基礎学力の定着と学力の向上には、家庭学習が欠かせません。毎日の点検と添削で個々の学習時間も増えてきています。

## (2) 教職員の資質・指導力向上

スクールカウンセラー・教科指導エキスパート・学習指導員・ALTなど、多くの皆さんに協力いただいています。

生徒の悩み相談や支援、宿題の添削、授業についての助言など、教職員の資質・指導力の向上にも繋がっています。

校内研修も充実させ、外部から講師を招へいし、授業力向上、生徒理解力の育成、人間関係づくりプログラムの研修など、生徒のより確かな力を育むための取り組みを充実させていきます。

## ◆輝く生徒たち

2学期は運動会・文化祭が開催され多数の皆さんにご参観いただくことができました。生徒たちの輝いている笑顔が素敵でした。生徒全員が心を一つにして歌いきった合唱、力強い歌声が体育館中に広がりました。

より良いものを目指そうとする姿勢が育っています。



3年生の学年合唱